鶴岡中央高校新聞

第58号

発行
山形県立鶴岡中央高等学校
生徒会　広報委員会

先端研 特別研究生＆研究助手 インタビュー

Q1. いつから科学に興味を持ちましたか？
Q2. なぜ研究助手・特別研究生になろうと思ったのですか？
Q3. 科学のどんなところが好きですか？
Q4. 任命式ではどのようなことを感じましたか？
Q5. どのようなことをしていますか？
Q6. 作業する上に心がけていることを教えてください。
Q7. 意気込みをお願いします。

元号も令和に変わった記念すべき年―。特別研究生と研究助手の方々にインタビュー形式で回答してもらいました。どのような人たちがどのような考えでどんなふうに頑張っているのかを知ることの出来るいい機会になればと思います。

特別研究生　一年三組　小野瑛晴

A1 わかりません。しかし、気付いたら科学が好きになっていました。
A2 AOを受けようということもありますが大きなところは、自分がどこまでいけるかというところを試したくなったからです。
A3 わかりません。ただ科学について考えて仮説をたてて試すというところです。
A4 夢の第一歩だということと、後を押してくれた先輩と浅野先生への感謝です。
A5 今は三問程度の問題を解いたり、研究をするにあたっての基礎勉強です。三問の問題の例は、モデル生物を研究する意義について説明しなさい、というものでした。
A6 常に身のまわりの整理、今はそれだけですが、それ以外については壁にぶつかった時に考えてみようと思います。
A7 時々、あることを忘れてしまったりしていますが、がんばります。

特別研究生　二年一組　伊藤　稜

A1 中学三年生の時に、IAのパンフレットを見て科学に関心を持ちました。
A2 中央高校の二十周年記念の祭、慶応義塾大学の富田さんの講話を聞き、私も最先端の研究をしたいと思い特別研究生になりました。
A3 自分の手で世界でまだ誰も知らない事実を研究し、解明するというところです。
A4 生命科学が社会に与える影響の大きさ、未来の可能性を感じました。
A5 現在は科学・研究の基本を学ぶため、講義を受けています。
A6 試行錯誤を繰り返し、根気強く取り組むこと。また、常に新しいことに挑戦するということを心がけています。
A7 バイオサミットなどで成果を挙げ、AO入試で慶應義塾大学に進学したいと考えています。実現のために精一杯努力します。

特別研究生　二年二組　富樫遙登

A1 小学生
A2 特別な存在になれるから
A3 全てを探求することがすき
A4 うれしい
A5 研究
A6 楽しむ
A7 がんばります。

研究助手　三年一組　佐藤万優

A1 小学三年生の自由研究で塩の実験をした時に面白いと思ったことがきっかけです。
A2 二年間培ってきた助手としての業務を後輩の助手へ伝えていくなと、未知のものへの探求を続けていきたいと思ったからです。
A3 研究は、答えがすぐに見つからないところが楽しいと感じます。
A4 世界に誇る先端生命科学研究所で研究助手の仕事ができることを嬉しく思いました。
A5 研究員さんが使った実験器具の洗浄や片付けをしています。他に、自分がしてみたい研究もさせてもらっています。三月に研究発表会もあります。
A6 研究員さんが研究をしやすい様に環境を整えたり、研究の際の基本的な身支度など、ルールを守って研究員さんの指示に従って行うことを心がけています。
A7 先端研では素晴らしい研究が様々行われています。その中で働く一人として、研究に役立つ人材になる事、そして自分の研究を支えてくださる方々に感謝しながら勤めていきたいです。

研究助手　二年二組　野仲彩月

A1 中学二年生の時。理科の授業の生物分野が好きでもっと深めたいと思いました。
A2 生物分野についてもっと深く知れると思ったし、研究助手の制度は中央高校だけなので、貴重な体験ができると思ったからです。
A3 人間の体や植物について知らなかったことが科学的に知れることです。
A4 研究助手に任用されたうれしさと、これから仕事に対する緊張を感じました。
A5 今は、ガリポン・ジョセフィーヌさんの所でラボ図鑑と実験器具を洗うお手伝いをしています。そしてまだ取り組んでいませんが、仕事の要請が来ています。
A6 第一に失敗しないように、言われた事をメモに取ったり、丁寧に作業するようにしています。
そして、もし失敗してしまった場合は、隠さずに担当者に相談するようにしています。
A7 まだ任用されてから日は浅いですが、与えられた仕事をしっかりこなし、生物分野についてより深く知り、ますます科学に興味をもてるようがんばります。

研究助手　二年一組　白幡大純

A1 小学校一年生くらいからです。
A2 昨年、一昨年と研究助手としての活動をして、とても楽しかったので、今年もなりたいと思っていました。
A3 解明されていないことが多いところ。
A4 皆様やる気に満ちあふれていると感じました。
A5 ミクロトームという細胞等をうすくスライスする機械を使って細胞一つ一つの3Dモデルを作ろうとしています。
A6 どんなことでもきちんと丁寧に、またわからないと感じたらすぐに担当者に聞くということを心がけています。今年からはただ聞くだけではなく教える立場になったので、そういった点も意識しています。
A7 昨年、一昨年に引き続き今年度も研究助手に選ばれたので、中央校の代表として日々精進をつづけていきたいと思います。

研究助手　二年二組　渡部智大

A1 詳しくは憶えていないが、明確に興味を持ったのは中学生の頃です。
A2 普通なら体験できないようなことをしてみたいと思ったからです。
A3 様々な実験を行うことができるところです。
A4 先端生命科学研究所が、いかに優れた施設かを改めて感じました。
A5 薬品を細かい単位で正確に、計測したり、調合をしたりしています。
A6 自分にできる仕事を、できるだけ効率的にこなせるようにして、同じ助手の人達と上手く連けいできるようにしたいです。
A7 自分にできることはたかが知れていますが、できるだけ懸命に仕事をしていきたいと思います。

研究助手　一年一組　阿部蔵人

A1 科学と言えるかわかりませんが、小さい頃から生き物や自然に関することが好きでした。
A2 中央のパンフレットで、研究助手の事を知り研究に関わる事に憧れていたのでぜひ参加したいと思いました。
A3 自分がまだ知らない新しいことを発見したりすると、とてもわくわくするところです。
A4 今まで見たことがないような施設にこれから携われることに、とても興奮しました。
A5 今は野菜が植えてある土の、成分濃度を計ったり、まだ理解はできていませんが、野菜などのメタボローム解析をしています。
A6 危険な薬品を使ったりすることもあるのでしっかりと説明を聞いて作業をすることはもちろんですが、常に研究結果を見てなぜそうなったのかを考えながら、研究を行うようにしています。
A7 できるなら、自分の興味があることを、研究課題としてやってみたいです。また、研究助手のスタッフの方達から指示されたことを的確にこなし、これから行われる研究に少しでも貢献できるように頑張ります。

研究助手　一年二組　佐藤　結

A1 小学六年生の時です。
A2 私は元々、生物学に興味があって、滅多に無い機会だと思ったので応募しました。
A3 まだ解明されていない謎がいっぱいある所です。
A4 今日から研究所の一員として頑張ろうと思いました。
A5 色々な事をしていますが、最近は細胞の生死の割合を調べるセルカウントや大腸菌のDNAを採取したりしています。
A6 実験などで、順序などを間違えないようにして、しっかりと指示を聞く事を心がけています。
A7 IABに貢献できるように頑張りたいと思います。そのために早く実験方法や器具を覚えたいです。

研究助手　一年四組　市倉英美

A1 科学は中学校に入ってから好きになりました。不思議が沢山あって面白いと思います。
A2 最先端の機械や技術で、自分の不思議に思っていたことを研究することができ、楽しそうだと思ったからです。
A3 新しい発見ができ、自分の知識の中に堆積されていく所です。
A4 高校生を一人の研究員として迎え、たくさん期待されていると感じました。そこで私も一緒に研究をしたいと思ったからです。
A5 畑やハウスなどの土を採り、その中の成分を調べています。調べることでその土の状態を知ることができ、足りない物やその畑やハウスの特長を知ることが出来ます。
A6 白衣と手袋を着用し、清潔な状態で実験をすることや、実験でもデータを見比べたりし、疑問をつくることを心がけています。
あと作業では無いですが、あいさつを心がけてしています。
A7 整った環境で研究を手伝うことが出来るので、沢山の知識にふれられると思います。その知識を自分の物にして、頑張っていきたいと思います。

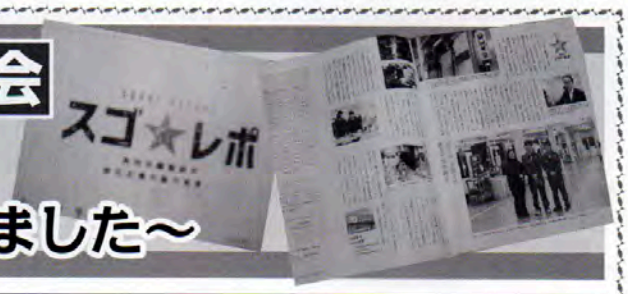
研究助手　一年五組　金内日咲

A1 小・中と理科が得意だったので、その延長線で科学に興味を持ちました。
A2 入学説明会の時での研究の紹介で初めて科学を身近に感じました。そこで私も一緒に研究をしたいと思ったからです。
A3 科学の謎が一つ解けると、一気に可能性が広がるところ。
A4 うれしさと同時に、研究の一部を担う事に対する責任を感じました。
A5 今はまだ始まったばかりなので研究所の説明を受けたりしているのですが、実験器具を洗ったり微生物の研究を行うなどのことをします。
A6 周りをよく見て状況を把握したり、よく考えてから行動するなどたくさんのことに心がけています。特に研究所には危険なものも多いので、安全性に気をつけながら作業をおこなっています。
A7 みんなで協力しあってまだ見ぬ可能性を追究し、自分にしかできないことを考えどんどんそれにチャレンジしていきたいです。そしてそれらの知識、経験を積み上げていき成長し続けていきたいと思います。

研究助手　二年三組　佐藤謙乃介

A1 去年からです。
A2 研究に没頭してみたいと思ったからです。
A3 常識を覆すところです。
A4 すごい人達に囲まれ、独特の雰囲気を感じました。
A5 大腸菌に含まれている物質を取り除いたり、実験器具の洗浄、パソコンでラボで使う道具の調査、調達などをしています。
A6 先生の話をよく聞き、わからないところは積極的に質問することです。
A7 先生の研究に貢献し、知識をたくさん吸収できるようにがんばります。

広報委員会 ～企画取材 行ってきました～



広報委員会では、地元企業からの依頼要請を受け、委員長と副委員長が地域文化情報誌の企画取材という貴重な体験をしてきました。

広報委員長　三年　仲鉢美咲

今回トガシ技研さんを取材させていただき、地元で日本や世界のものづくりをしていると知ることが出来ました。会社内の雰囲気も良くて働きやすい環境なのだと感じました。

新入社員の方への質問では仕事をするうえで大切なことを聞いたところ、緊張感を持つことや分からないことを聞き、自分の思い込みでやってしまわないことと答えてくれました。このことは、仕事に限らず、私達高校生の学校生活においても大切なことだと思いました。また、地元就職を選んだ理由として周りに地元の良さを伝えたい・自分が育ってきた地元に貢献したい・単純に地元が好きだなどということが挙げられ、やはり地元というのは、安心感があり、居心地が良いものだと感じました。私も地元で就職したいと考えており、もっと多くの人に地元の良さを知ってほしいと思いました。そして、地元が活気づいてほしいです。この取材を通して貴重な体験をさせていただき、ありがとうございました。

副広報委員長　三年　吉住菜々未

トガシ技研さんを取材させていただき、ものをつくる工程では多くのロボットが作業していて驚きました。仕事をするうえで、常に緊張感を持って仕事をしたり、スムーズに作業が進むようにわかりやすく図面を作ったりすることはとても重要だと学びました。

地元就職をした新入社員の方にインタビューをして自分の育ってきた地元に貢献したいと思ったり、地元の良さに気づいたりして地元就職をしているということが分かりました。また、入社してからは、段取り良く物事を進められるようになるなど、多く成長できるということを知りました。

今回の取材を通して地元で働くことの重要さや、仕事をするうえで大切にしていることなどさまざまなことを学べて良かったです。地元で働くことは、地域にたくさん貢献できて、自分のやりたいことができると思いました。

取材を終えて

企業を訪れて取材することが初めてでとても緊張していましたが、トガシ技研の社員の方やクレードルの編集者の方々が温かく受け入れてくださり、少し緊張がほぐれました。地元就職の良さや大切にしていること、これからの目標などについて聞くことが出来ました。この体験を通して学んだことをこれからの生活に活かしたいです。（仲鉢美咲）

2019 職員紹介

氏名　職名・分掌　担当教科　部活動

一年次

成田早紀
1年6組担任
福祉
バレーボール女子

石塚周子
1年5組担任
家庭
調理・演劇

栗木泰智
1年4組担任
商業
ワープロ

庄司葉子
1年3組担任
国語
陸上競技

佐藤彩花
1年2組担任
英語
ソフトボール

佐藤　遼
1年1組担任
保健体育
ソフトボール

渡会　聡
1年次主任
数学
野球

守屋宏之
事務部長

東海林　宏
教頭
商業

河口昭俊
教頭
地歴公民

遠田達浩
校長
数学

會田翔平
1年次副担任
保健体育
バスケットボール男子

野崎　郁
1年次副担任
英語
弓道

松崎江莉
1年次副担任
芸術
吹奏楽

田中惠子
1年次副担任
国語
演劇・調理

田中　勉
進路指導課長
数学
バスケットボール女子

松本光治
生徒課長
音楽
合唱

笹原敏也
教務課長
理科
卓球

成澤弘之
総務広報課長
商業
天蓋太鼓

二年次

浅野　悟
教務課 普通科主任
理科
柔道

阿部由美子
学習センター課長
地歴公民
合唱

溝江郁子
保健課長
家庭
茶道・書道

高橋ちや子
2年7組担任
家庭
バドミントン

齋藤靖紘
2年6組担任
保健体育
バレーボール男子

石川いずみ
2年5組担任
芸術
美術

中島那美子
2年4組担任
英語
華道・ボランティア

佐藤浩幸
2年3組担任
地歴公民
サッカー男子

渡辺　奏
2年2組担任
数学
ソフトテニス

土門俊樹
2年1組担任
英語
アーチェリー

佐藤　悟
2年次主任
国語
バレーボール男子

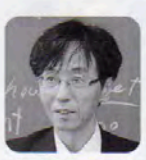
丸谷友紀
教務課
理科
バスケットボール男子

佐藤留里
教務課
数学
サッカー女子

齋藤裕子
教務課 総合学科主任
家庭
バスケットボール男子

佐藤直子
2年副担任
福祉
柔道

後藤俊之
2年副担任
商業
剣道


池野克哉
2年副担任
英語
吹奏楽

松森　昌
2年副担任
地歴公民
バスケットボール男子

山宮　守
進路指導課
地歴公民

阿曽美幸
進路指導課
書道
書道・茶道

大坂秀幸
進路指導課
国語
天蓋太鼓

田中裕康
進路指導課
英語
卓球

本田裕二
進路指導課
商業
野球

常川忠弘
教務課
英語
バレーボール男子

笹原由香里
総務広報課
商業
剣道

工藤千代
総務広報課
芸術
バドミントン

鈴木友香
生徒課
家庭
野球

佐藤真祐子
生徒課
理科
バレーボール女子

友野　抗
生徒課
理科
サッカー女子

金井澄男
生徒課
保健体育
陸上競技

三年次

丸山　瞳
保健課
福祉
アーチェリー

佐久間道子
保健課
地歴公民
バレーボール女子

小笠原秋江
総務広報課
家庭
ソフトテニス

鈴木清子
3年7組担任
芸術
サッカー男子

飯澤菜美恵
3年6組担任
看護
ボランティアインターアクト・華道

大野みどり
3年5組担任
商業
卓球・ワープロ

菅原　智
3年4組担任
地歴公民
サッカー男子

木村眞梨奈
3年3組担任
国語
バドミントン

佐藤雅也
3年2組担任
理科
アーチェリー

猪口知津子
3年1組担任
英語
サッカー女子

夷藤雅純
3年次主任
数学
陸上競技

伊藤真由美
学校司書

佐賀井　淳
養護教諭

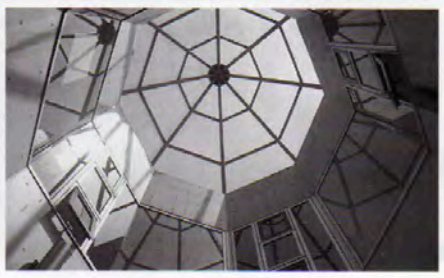
坂上　敦
学習センター課
情報
弓道

牧野亮汰
3年副担任
保健体育・
バスケットボール女子

松浦政弘
3年副担任
数学
ソフトテニス

畠中　直
3年副担任
国語
弓道

高橋芳弘
3年副担任
英語
剣道



白井　文
非常勤講師
家庭

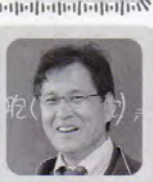
佐藤志保
非常勤講師
美術

大場麻美
非常勤講師
福祉

岸　ひろみ
非常勤講師
看護

本田佳慧
非常勤講師
中国語

幅屋寿三
非常勤講師
ロシア語


上西祥史
非常勤講師
理科

ゲイジ
ALT

相沢広樹
校務補助員

杉崎由佳
PTA事務補助

芦埜瑠偉
主事

菅原　誠
総務主査

本間有輔
学校技能員

五十嵐経一
学校技能員